

【学校教育目標】「感謝の心をもち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



# 学校だより 堂崎つ子

第 20 号

令和 7 年 12 月 1 日  
南島原市立堂崎小学校  
校長 末吉 優

## 「STOP 自分ルール」 $\leftrightarrow$ 自分ルールの本質は「自分を豊かにする習慣」である

日本の魅力は何でしょうか。どこにあるのでしょうか。日本を訪れる外国人が感心することの一つに、「バスや電車が時刻表どおりに運行すること」と、ある雑誌に掲載されていました。「時間を守る」ことはこれまでの先人たちが長い時間かけて培ってきた「日本のモラル」の例といえます。同様に、日本の治安の良さや公共の場所の清潔さも「誠実である」、「秩序を重んじる」、「規律を守る」、「人に迷惑をかけない」といった「日本のモラル」の表れだと言えます。

ところで、堂崎小学校には「STOP 自分ルール」という掲示物が掲げてあります。言うまでもなく、「周りの人のことを考えて行動しよう。自分勝手なことをしないようにしよう。迷惑をかけないようにしよう。周りの人に不快さを与えない。」という願いで掲げられたものであることは間違いません。

近年、当たり前であることが、「それで良いのか?」「おかしくないの?」というように首をかしげるケースが多くなりました。皆さん、どのようにお考えでしょうか? 最初に述べました「日本のモラル」についても、近年、変化が見られているように感じます。

本来、「自分ルール」とは、「自分の成長とあわせて自分を豊かにする習慣」であって、生活が快適になるものです。その快適さが豊かさにつながります。

別の視点から述べます。

皆さんの御家庭で、次のようなことはことはありませんでしょうか?

「宿題の後なら、ゲームを1時間して良い。」おそらく、ほとんどの御家庭であるのではないかでしょうか。この場合、ゲームというご褒美が目的となってしまい、「ルールを守る」という本来の目的がおろそかになってしまいます。

また、次のような場合はどうでしょうか。「〇〇しなかったら、ゲーム機を取り上げる。ゲーム禁止。」この場合、子供の意識は、「〇〇しなかったことへの反省ではなく、ゲームに向いてしまいます。

これらのように、「ルールを守るという本質」が少し違った意味で捉えられ、知らず知らずのうちに私たちの生活に影響をもたらしているのではないかと考える今日この頃です。

## 入賞者の紹介 入賞おめでとうございます! (敬称略)

< 令和7年度 緑化推進運動ポスター 奨励賞 >  
6年 草野 「きれいな自然を残していくたい」



< 第19回南島原市北村西望賞教育美術展入賞者 >

### 平面の部

特選	2年 伊藤	、	神崎	、	松尾	、
入選	6年 小嶺	、	松尾	、	小島	、
	金子	、	神崎	、	渡部	、
	5年 鬼塚	、	渡部	、	松尾	、
	4年 中川	、	隈部	、	竹市	、
	2年 小嶺	、	隈部	、	松永	、

### 立体の部

特選	4年 白石	、	3年 井上	、	平石	、	2年 中川	、	1年 木村
入選	6年 末吉	、	古江	、	松尾	、	松尾	、	小嶺
	5年 石川	、	荒木	、	石橋	、	井上	、	松永
	4年 古江	、	金丸	、	中川	、	伊藤	、	
	3年 草野	、	2年 渡部	、	隈部	、	伊藤	、	荒木
									1年 平石

< 第19回南島原市古野賞科学技術展入賞者 >

入選 6年 草野 、 隈部 5年 松永 4年 石橋 、 渡邊



※ 南島原市出身で日本を代表する芸術家:北村西望氏、世界初の魚群探知機を開発した古野清孝氏・清賢氏の功績を称えるとともに、子供たちの可能性や感性を引き出すために設けられた作品展であり、南島原市内多くの小中学生の力作が展示されていました。

## 6年生 学びを深めた修学旅行 【11月18日(火)～19日(水)】

少々寒さが心配されたのですが、佐賀：吉野ヶ里歴史公園、福岡市博物館、マリーンワールド、キッザニア福岡を見学・体験学習の場として修学旅行を行いました。

出発時、堂崎小学校が重点的に取り組んでいる「3つのあ（あいさつ・ありがとうという感謝の気持ち・あとしまつ）」について、社会へ発信・実践するチャンスであること、そして、周りの人を意識した活動をしようと確認しました。

児童は、「目的をもって考えながら行動し、思い出に残る修学旅行にしよう」というテーマを掲げていました。「友達と仲良く活動し、楽しい思い出を創る」ためにも、よく見て、よく聞いて、よく考えました。 団体行動をとおして規則やマナーを守り、責任をもって行動する、グループで協力するなど、大切な社会体験となりました。

福岡市は国際色豊かなまちで、街並みの違いを実感し、観光客、外国出身のスタッフの方々とも出会い、良き体験ができました。そして、周りの人への気遣いと周囲の空気を感じるなど、社会性を営むにおいて必要なことを学んでほしいと思いました。2日間の修学旅行をとおして、新たな自分を発見し、また、今後の学校生活・家庭生活に活かすことができればと思います。



<吉野ヶ里遺跡 物見やぐらと竪穴住居、北内郭：主祭殿内部、



<マリーンワールド：集合写真 インルカショー >



<キッザニア リユースショップ マジシャン 漢方研究所 配電テクニカルセンター テレビ局>

## 1年生 児童集会から 【11月26日(水)】

1年生にとって児童集会として全校の前で発表する初めての機会。少々緊張した表情で、「キラキラ星の演奏」と手話を交えた「友だちになるために」を歌いました。11人という少ない人数でも、やればできるという自信をつかむ機会となりました。



## 赤い羽根共同募金への御協力 ありがとうございました。

子供たちや保護者の皆様には「赤い羽根共同募金」への御協力をいただき、ありがとうございました。

先日、南島原市社会福祉協議会有家支所の職員の方が来校され、代表児童から手渡しました。募金につきましては、長崎県共同募金へ送金し、社会福祉施設の整備や福祉活動、社会福祉団体の活動支援、災害見舞金等に使われます。

